



金沢区美術協会創立15周年記念展示@区役所1階展示スペース (令和5年1月)

**目次** ■ 特集：金沢区美術協会(P1、4-5) ■ 行事予定、会員状況(P8)

■ 協会報告：文化講演会、文化センター、かるた大会、コンサート、俳句短歌(P1) ポスター展、  
島山重保公墓所保全(P3) ■ 会員報告：区民文化祭(P2) 各会員行事(P3、6-7)

### 文化講演会「横浜金沢の大名」を開催

文化講演会「横浜金沢の大名一史料が語る激動の幕末・明治」が令和4年11月12日(土)、金沢公会堂で開催された。講師は横浜市歴史博物館主任学芸員(日本近世史担当)の小林紀子氏。当地金沢には城はなかったが武州金沢藩(六浦藩)米倉家の陣屋があった。そこに勤めた役人の日記から幕末・明治にかけての藩の動き、開国の最前線であった浦賀・金沢の様子を語っていただいた。ブラタモリにも出演され、講演実績も豊富で、歯切れの良い話し方、興味あるお話の構成で、聴衆を惹きつけた2時間であった。地元紙のほか、講師のインタビューをネットですらすら事前のPRに務め、多くの区民の皆様にお越しいただいた。



講師の小林紀子氏



会場の様子

### 区民文化センター基本構想について横浜市に答申

熱望の区民文化センターを金沢八景駅前に建設の方向で検討が始まりました。令和4年度に「金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会」が作られ、9~12月に月1回、計4回委員会が開催され、金沢区の文化的背景、文化センターの役割、具体的な施設・設備の議論が行われた。最終答申は、公会堂や地区センターなどの現有施設を踏まえ、限られた敷地を念頭に、強い要望があるギャラリーを主体にセンターの実現を求めるものになりました。また文化活動の拠点として必要な設備や人々に親しみやすく気軽に立ち寄れる工夫についての委員からの提言が多数盛り込まれました。令和5年1月に委員長から区長に手渡された答申は金沢区のホームページから閲覧可能(金沢区民文化センターで検索)となっています。



基本構想委員会での熱心な議論  
(当協会の関係者2人が委員として参加)

### かねさわ杯区民かるた大会

令和5年3月11日(土)、金沢中学校武道場で第3回かねさわ杯区民かるた大会を開催しました。チーム対抗の百人一首かるた大会(源平戦・払い手なし)で、1チーム3名、トーナメント方式による勝ち抜き戦でした。敗者復活戦もありました。



### かねさわ区民コンサート Vol. 2 「和と洋の饗宴」にご期待を

コロナで令和元年10月のVOL.1から3年半が経過してしまいました。その間いろいろな企画が浮いては沈みの繰り返しでした。今回は日本古来の吟剣詩舞と62年の歴史を持つ金沢吹奏楽団のコラボレーションです。「横浜金沢文化協会だからできる」「和と洋の饗宴」です。どのような空気感を見せたいただけのか「ワクワク」です。令和5年3月26日(日)、金沢公会堂です。



### 俳句短歌ポスト 今年の表彰は来年に

コロナのためか、俳句・短歌ともに作品応募が少ない。そのため、令和4年度の表彰は延期とし、来年度にまとめて実施します。ご応募をいただいた方々には申し訳ありません。皆様のごなる投稿をお待ちしております。





### 金沢区民文化祭

#### 第8回 民謡のつどい(金沢民謡協会)

令和4年10月2日(日)、コロナの影響が続く中、対策をして、お客様を招いての第8回「民謡のつどい」を金沢公会堂で開催しました。合唱はマスク装着・独唱はマスク無し、楽器演奏者はソーシャルディスタンスを保った立ち位置・椅子の配置でした。民謡協会を構成する各会の合唱・合奏、各会の会主・会員個人の発表があり、全部で93曲を披露しました。会場にはたくさんの区民の皆様にご来席をいただき、お楽しみいただきました。

第9回「民謡のつどい」は令和5年10月8日(日)に金沢公会堂にて開催します。(阿部きみえ)



#### 第23回 吟と舞の祭典(金沢区吟剣詩舞道連盟)

令和4年10月29日(土)、金沢公会堂で「吟と舞の祭典」を開催しました。各流派・会はともにも本来の活動にすこしずつ戻る中、今年も少年・少女の参加は実現せず、半日開催となりました。金沢八景詩ではじまるプログラムは、吟詠、剣舞、詩舞と進み、各会が精一杯の発表を行いました。今年は剣舞が多く、勇壮な大会となりました。残念ながら、舞台終了後の懇親会はなく、来年を期しての散会となりました。(大川岳要)



#### 日本舞踊公演(金沢区日本舞踊連盟)

令和4年10月30日(日)、金沢公会堂にて27回目の金沢区日本舞踊連盟公演を迎えました。伝統ある日本舞踊を地元の皆様に楽しんで頂きたいと夏の猛暑とコロナ禍の中、出演者一同稽古に励みました。大道具、松竹衣装、かつらと本格的歌舞伎同様の舞台構成で舞を演じ、なかなか見る事の出来ない演目で日本舞踊の真髄である京鹿子娘道成寺で舞台に花を添えました。大勢の方々にご覧頂き、好評のうちに終了出来ました。今後も伝統文化の継承と人材育成に精進していききたいと思います。(花柳徳蓮)



#### 第40回 金沢区音楽のつどい(金沢区音楽のつどい)



琴アンサンブル 金沢桐韻会

団体名でもありますが「金沢区音楽のつどい」は区内に拠点を置く音楽団体が音楽文化の向上と親睦を図ることを目的に日ごろの練習成果を発表する場です。今回もコロナで危ぶまれましたが、令和4年10月16日(日)に金沢公会堂で3年ぶりの開催に踏み切りました。マスク着用、着替え無し等で、いつもの華やかさは薄く寂しいものを感じましたが、久しぶりのステージで、生き生きとした顔、かお・カオ・・・やはり歌うのが、演奏するのが大好きで集まっているようです。来客も多く、ホールは賑やかでした。



男声合唱団 メンネル夏山

#### 華道展(金沢華道会)

令和4年11月11日(金)~12日(土)、金沢公会堂会議室において華道展を開催しました。会員とその門下生24人が季節の花と向き合い、花器との調和を図りながらそれぞれ表情豊かな作品に仕上げました。ご来場の方々から「会場が明るく、花がイキイキしている」「良い香りがする」等の感想をいただき、次への励みとなりました。これからも多くの区民の皆様を生け花を楽しんでいただきたいと願っています。(斉木一美)



#### 金沢三曲演奏会(金沢三曲会)

令和4年11月3日(木)、金沢公会堂で金沢三曲会の仲間たちによる第45回金沢三曲演奏会が開催されました。バラエティー豊富な曲目と子供たちの舞台に会場は盛り上がりました。また、45回を記念して、金沢区の風物をうたった池上眞吾作曲「風のダイアログ」と八橋桜校作曲と伝えられる「六段の調」を流派を超えて合同で演奏しました。お客様の拍手に胸を一杯にし、気持ちを新たに邦楽の道に邁進して行きます。(佐野史瑞子)



金沢三曲演奏会

#### 茶会(金沢茶道会)

令和4年11月13日(日)、金沢地区センターにおいて茶会を開催しました。和室は裏千家小西宗和席、ロビーは表千家薄井宗江席とし、コロナ感染防止対策を踏まえて、大会議室をそれぞれの席の待合とし、各席には12名のお客様をお入りいただきました。総勢150名のお客様をお迎えし、一椀の抹茶とお菓子で終始和やかな一時を過ごしていただきました。(田中宗美)



#### 迎え花と茶道具展(金沢華道会・金沢茶道会)

令和4年11月7日(月)~12日(土)の6日間、金沢区庁舎1階エレベーターホール前の展示スペースに「迎え花」(金沢華道会)と「茶道具」(金沢茶道会)を展示しました。

中央のオープンスペースには“ヘリコニア、グロリオサ、ニューサイラン、トルコ桔梗”等で迎え花を大きく生けました。また、両側のガラスケースには茶道具に欠かせない「蓋置」を展示しました。花と茶道具の組み合わせはとても好評でした。(斉木一美、田中宗美)



第34回金沢区民文化祭

迎え花と茶道具展(両者の間隔を詰めた合成写真)

#### 区民の作品展

令和4年11月10日(木)~15日(火)、金沢公会堂多目的室と区民ギャラリーで「区民の作品展」が開催されました。絵画や書道、手芸、写真各部門の総計で112名の出品があり、6日間で延べ710名が鑑賞しました。個性あふれる作品が多く、作者の思いを感じることができ、来場者も大いに感動の様子でした。文化協会は、展示設営や受付に積極的に協力し、これを通じて金沢区内での活発な文化活動の一端を知る機会となりました。計画進行中の区民文化センターの完成で、作品発表の場の拡充が期待され、その核の行事として、今後も連携し金沢区の文化発展に寄与していきます。(鈴木達洋)



赤ひげ小川笙船法要会

皆様に愛されて創業71周年!!

“おいしい和菓子の店”

御菓子司 横浜 紅谷

京急富岡駅前本店 TEL/FAX 772-3340  
京急能見台駅前支店 TEL/FAX 370-8618

白山  
東光禅寺



**区民ギャラリーと展示スペースで展示 (文化協会)**

区役所 2階の区民ギャラリーで令和4年9月2日(金)～10日(土)の間、「横浜金沢文化協会の取組」と題したポスター展を行いました。展示のメインは7月3日(日)の令和3年度俳句短歌ポスト表彰式での表彰作品の紹介で、書道協会の協力で作品を色紙に筆書きして展示しました。後日、色紙は各作品の作者に記念品として進呈しました。その他、会員の「金沢区吟剣詩舞道連盟」と「金沢区音楽のつどい」の紹介、10月からの区民文化祭での各会員の出演予定ポスターなどを展示しました。

区役所 1階エレベータホール前の展示スペースでは、令和5年1月4日(水)～13日(金)の間、金沢区の文化財紹介の第3弾として、国・神奈川県・横浜市から文化財の指定を受けている金沢区内の絵画の全点について、その姿を3枚の大型カラーポスターにまとめて展示しました。今回はポスターの出来が良いとお褒めをいただきました。(金間誠一)



2階の区民ギャラリーでの展示



1階の展示スペースで展示

**旧長濱検疫所一号停留所一般公開 (横浜検疫所)**

「旧長濱検疫所一号停留所」の一般公開が令和4年11月19日(土)に行われた。当協会は、野口英世よこはま顕彰会と連携して「一号停留所の保存」を4年前の平成30年から訴え、署名運動も行ってきた。実物を市民の皆様に見ていただきたくて、毎年当局にお願いして来たが、コロナ禍で実現出来ず、やっと念願が叶った3年ぶりの公開であった。当日は好天の上、マスコミの事前案内もあり、1,000人を超える見学者でにぎわった。明治期の高級ホテル並みと言われた建物に、改めて感嘆の声を挙げた方も多かった。これを機に、現地保存の話が進むことを期待したい。また当日は長浜ホールで恒例の「野口英世フェア」も開催され、検疫所に勤務した野口英世の活躍を偲んだ。(平山次清)



た当日は長浜ホールで恒例の「野口英世フェア」も開催され、検疫所に勤務した野口英世の活躍を偲んだ。(平山次清)

**講演会「感染症の歴史と野口英世の足跡をたずねて」 (野口英世よこはま顕彰会)**

令和4年9月11日(日)、金沢公会堂で野口英世よこはま顕彰会の講演会「感染症の歴史と野口英世の足跡をたずねて」が開催された。「世界史を変えた感染症と今後」(北里大学・林俊治教授)、「感染症学者「野口英世」の横浜金沢での活躍と英世の母」(神奈川歯科大学・中村澄夫名誉教授)の講演、「母「シカ」がアメリカにいる息子の野口に宛てた手紙」(フリーアナウンサー、朗読「たちばな」主宰・橋有美氏)の朗読があった。講演では世界史を変えた感染症・今後は共存を考えること、野口の横浜金沢での活躍や検疫資料館の保存価値などが語られ、朗読では母が息子を想う心情が聴くものの胸を打つなど、いずれも素晴らしいものであった。

今回は、映像の配信も試行され、沖繩からの視聴もあった。(平山次清)



林 俊治教授



中村澄夫名誉教授



橋 有美氏

**畠山重保公廟所保全活動 (文化協会)**

畠山重保公廟所保全は文化協会が実施する歴史・史跡・文化財等の保全活動の一つで、平成24年に協会の諸先輩により畠山重保公廟所保存会として発足したものです。重保公の命日にあたる6月22日の顕彰墓参会、講演会、廟所清掃活動を行っています。廟所清掃は毎月第2土曜日で、春先から晩秋までは雑草取り、晩秋から春先までは落葉掃き、有志4、5名で9時半から約1時間、おしゃべりや情報交換をしながら実施しています。これには、廟所の周りには住宅の他、閑静な山林があり、季節ごとの鳥のさえずりや木々の移り変わりを身近に感じられる楽しみもあります。(内園一廣)



**講座「祇園舟とお馬流し」(NPO法人らしく並木)**

令和4年9月18日(日)、オフィスかなざわにて、横浜市八雲郷土資料館館長の相澤竜次氏をお迎えし、「横浜の漁師町に古来より伝わる祇園舟(富岡八幡宮)とお馬流し(本牧神社) その比較と検討」と題した講座を開催しました。ともに夏の厄除け神事として護り継がれてきたもので、祇園舟は舟、お馬流しは馬の形をしています。両者とも災厄を吸いと言われる「茅」で作られた祭礼具で、祭礼船で海へ運び、沖へ流すという共通点があります。同様の神事は日本各地にあります。特に祇園舟は800年以上続いている伝統的な神事です。(福島富士子)



**金沢文化芸術祭 (金沢文化芸術祭実行委員会)**

金沢文化芸術祭は、コロナ禍で開催を見合わせてきましたが、3年ぶりに第10回目を令和5年2月25日(土)に金沢公会堂で開催しました。この芸術祭は人気で、プログラムは邦楽、和太鼓、民謡、舞踊、カラオケ、合唱、パントマイムなど多岐にわたり、箏・三絃・尺八、民謡では文化協会の個人会員や団体会員が、また大道芸人ジーコさんが華やかな舞台を繰り広げ、皆様に喜ばれました。これからも伝統文化の継承と世代を超えて人々を結びつける、金沢文化芸術祭でありたいと願っております。(中塚康雄)



開幕での花笠音頭演奏



大道芸



植周造園株式会社

知足山 龍華寺



### 研修講習会



研修講習会は、初心者の方、またレベルアップしたい方を対象に水彩画講習会、水墨画講習会、アクリル画講習会、クロッキー講習会等を行っています。一般の方の参加も歓迎です。



### 絵画貸し出し

社会貢献事業として賛助会員、広告主、老人ホーム等の公共施設へ会員の描いた絵画の貸し出しをしています。主な作品をご紹介します。



## 金沢区美術協会

—見る楽しみ・描く楽しみ・発表する喜び—

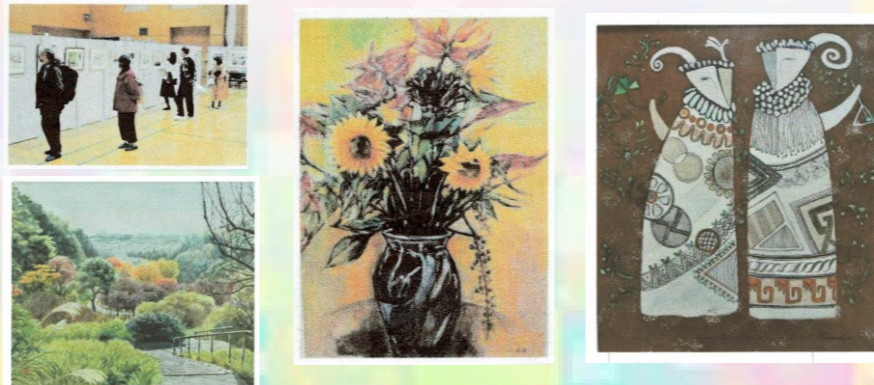
金沢区美術協会は2008年、金沢区在住の絵の愛好家が集まり、「金沢区内の美術、絵画の振興と創作、発表への支援」及び「金沢区内の美術、絵画愛好家のネットワーク作り」を設立趣旨として“見る楽しみ・描く楽しみ・発表する喜び”をキャッチフレーズに創設した団体です。

2022年で創立15周年を迎えました。2023年1月時点で会員数は117名です。

活動内容は年2回の絵画展(公募展・金美展)と年数回の勉強会(研修講習会、スケッチ会)です。

### 公募展

金沢区を対象に、無審査の公募展として11月能見台地区センターを会場として実施。第15回公募展は出品数220点、来場者数1500名を超えました。



### 金美展

金美展は主に協会の会員を対象に大型(50号まで)の作品展が可能で、区内では他にない充実した絵画展です。今回は創立15周年記念展として開催、出展数も80点を超えました。

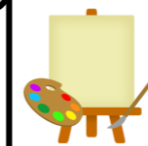


スケッチ会は講師による講習会形式の会と、講師のいないフリースケッチ会を行っています。講師が指導するスケッチ会は、講師が一人一人にアドバイスをを行い、終了時描いた絵を並べ画評を行っています。フリースケッチ会は参加したい人が現地に集合、自由に描き、終わりに自作のコメントをして終わりにしています。

### スケッチ会



### ぷかり棧橋



## 金沢区美術協会に入会しませんか!

金沢区美術協会では絵に興味のある方、これから絵を描いてみたいという方、もっとレベルアップしたい方、協会で楽しく絵を描いて発表してみませんか。

入会金不要、年会費3,000円で、会員としての特典もあります。

入会希望の方、また見学してみたい方、歓迎です。下記に連絡ください。

神野:090-1427-1291

大滝:090-8300-8189



**クリスマス・チャリティー・コンサート(金沢吹奏楽団)**

令和4年12月24日(土)、金沢公会堂にて金沢吹奏楽団の第21回クリスマス・チャリティー・コンサートを開催。指揮は安田遼太。演奏曲目はシェイクスピア・ピクチャーズ、リバーダンス、スピリティッド・アウェイ(千と千尋の神隠しより)、サウス・ランパート・ストリート・パレード、ジャパニーズ・グラフィティ XV アニメヒロイン・メドレー、カントリーロード、Xmas Swingin' コレクション。慣れてきたとはいえウィルスとどう付き合っていくか、今年も不安材料を抱えてのコンサートでしたが、多くの皆様にご支援をいただき楽しいコンサートとすることができました。ご来場いただきました皆様には、師走のお忙しい中にもかかわらずアンコールまでお付き合い頂きまして誠にありがとうございました。(寺田早苗)



**金沢区民公募展(金沢区美術協会)**

令和4年11月19日(土)~24日(木)の間、能見台地区センターにおいて第15回金沢区民公募展を開催しました。区民の皆さんに開かれた絵画展で、美術協会最大の行事です。金沢区役所、能見台地区センター及び横浜金沢文化協会の後援で、会員以外の方や地元で活動の絵画グループから12団体が参加。出品数は213点と過去最高。後援を頂いている能見台地区センターの「地域の作品展」と一体運営にしたこともあって、来場者は1310名とこれまで過去最高の盛況ぶりでした。美術展が持つ「見る楽しみ・描く楽しみ・発表する喜び」を今後も、皆さんと共に分かち合いたいと思っています。尚、今年度は協会創立15周年に当たり、令和5年2月に記念展を区役所で実施。出品数はこちらも過去最高。講演会の他、区役所一階に今年度の勉強会で制作した作品を展示等の記念行事を行いました。(大滝照平)



**朗読「たちばな」発表会**

令和4年10月15日(土)、金沢公会堂多目的室で第11回朗読「たちばな」発表会を開催。この1年間で学んだ作品から、生誕160年・没後100年の文豪・軍医の森鷗外を取り上げ、歌舞伎でも上演の「じいさんばあさん」・安楽死をテーマにした「高瀬舟」、そして日本人の心の精髓を優れた感受性で表現する物語の巧みさで、日本人として初めてノーベル文学賞に輝いた川端康成の「伊豆の踊子」、向田邦子の戦争を題材にした「ごはん」、他に夏目漱石、芥川龍之介、三浦哲郎、江國香織らの10作品を12名の演者でお届けしました。まだコロナ禍で、客席との間にビニールシールドを施し、人数も70名に制限しました。普段読まない作品を聴くことが出来て良かったという声を頂きました。(橘 有美)



**箏演奏会(琴アンサンブル金沢桐韻会)**

令和4年12月4日(日)、横浜市金沢振興センターホールにおいて、箏演奏会が開催されました。佐野教室門下生との合同で中学生から80代までの演奏者によって、現代曲から江戸時代に作曲された古曲までの、様々な曲が演奏されました。その中で宮城道雄作曲の「春の海」と吉崎克彦作曲「月光=さくら」が特に好評でした。(佐野史瑞子)



**金沢三曲会研究会を開催(金沢三曲会)**

2月にしては暖かかった令和5年2月19日(日)、金沢公会堂で第88回金沢三曲会研究会を開催しました。34名が出演し、生田流や山田流など様々な曲を演奏。日頃の練習の成果を発表しあいました。(渡辺 淳子)



**三本コーヒージャズ**  
八景駅前から文庫駅前のすずらん通りに  
移転しました

**鹿島地所株式会社**

**富岡八幡宮**  
波除八幡宮

医療法人社団 景翠会  
**金沢病院**

学校法人新栄学園 認定こども園  
金沢白百合幼稚園  
**SHOHO**

**Bakery House AOKI**



### 金沢区民ダンスフェスティバル&抽選カップル戦 (金沢区ダンススポーツ協会)

令和5年3月19日、第16回金沢区民ダンスフェスティバル&抽選カップル戦を金沢スポーツセンター第一体育室で開催します。8:30~12:00は抽選カップル戦で、男性に背番号を付け、女性が番号を引くことでカップル決めます。種目はワルツ・タンゴ・チャチャチャ・ルンバの4種です。4種目を抽選カップルで競い、1~8位を表彰します。12:30からはダンス練習会です。13:00~16:00はダンスパーティーで、その間の14:00からプロのデモがあります。なお、令和4年8月21日のダンス講習会&練習会はコロナで取止めました。(大辻 明)



21日のダンス講習会&練習会はコロナで取止めました。(大辻 明)

### 旧伊藤博文金沢別邸にて茶会を開催 (金沢茶道会)

令和4年10月1日(日)、旧伊藤博文金沢別邸において主催(公財)横浜市緑の協会、共催金沢茶道会で、席主表千家片岡宗暢の茶会を開催しました。コロナ対策で、午前30名、午後30名と参加人数を分け、一席5名様としました。コロナの猛威を感じながらも沢山の笑顔とお茶会によせる皆様の熱意を感じ、「茶の湯」のありがたさを改めて思いました。(田中宗美)



### コラボ展示&コンサート (金沢区書道協会・琴アンサンブル金沢桐韻会)

令和5年1月10日(火)~21日(土)の11日間、区民活動センターの主催で『「街の先生」・「登録団体」コラボ展示&コンサート』が開催され、たくさんの区民の皆様にご来場いただき、好評を博しました。全11日間を通して区民ギャラリーで実施された「コラボ展示:うさぎ跳ぶ2023 ~アートの手箱~」では、一つのテーマのもと、書道・べんがら染め・陶芸・トールペイント・フラワーアレンジメントの異なるジャンルの作品で新春のギャラリーを飾りました。書道のパートは文化協会会員「金沢区書道協会」のメンバーの作品でした。最終日にギャラリー前スペースで実施された「ランチタイムコンサート:お琴とチェロのコンサート ~春を紡ぐ~」では、それぞれの楽器の演奏に続き、箏とチェロと一緒に演奏しました。終了後は、拍手が鳴り止まず、アンコールの声も上がりました。「チェロと箏の音色がこんなに良く合うとは思いませんでした。」「このような企画があったらまた聴きたい。」等の感想をいただきました。箏のパートは文化協会会員「琴アンサンブル金沢桐韻会」のメンバーが担当しました。(中澤 翠光・佐野史瑞子)



コラボ展示



ランチタイムコンサート

### 茶道ミニ体験講座 (金沢茶道会)

令和4年9月22日(木)、金沢公会堂和室において「茶道ミニ体験講座」を金沢区民活動センターの主催、金沢茶道会の担当で開催しました。受講者5名には、襖の開け方、床の拝見の仕方、畳の歩き方、お菓子の頂き方等実践していただきました。また身近にあるポットを用いて、自分で抹茶を茶杓で掬い、茶碗に入れ、湯を注ぎ、茶筌で茶を点て、和菓子を食べました。正味2時間の体験でしたが、所作を大変興味深く感じられ、「家でもやってみます」と言って帰られました。(田中宗美)



### 和楽器出前教室 (金沢三曲会)

金沢三曲会では毎年区内の小中学校に楽器を持参し、和楽器体験授業のお手伝いをしています。授業では最初に「春の海」の生演奏を鑑賞。そして、箏・三絃・尺八の楽器の説明を聞き、体験をスタート。ただし、コロナ対策で、尺八は吹かず歴史などお話を聞きます。「尺八にはたくさん種類があることにビックリ。」「箏は爪がすべてで難しかったけど、きれいに弾けて嬉しかった。」「本物に触れて良かった。」などの感想を聞くことができました。(渡辺 淳子)



Delicatessen  
**MURSO**  
ブルスト

関口歯科医院  
SEKIGUCHI DENTAL OFFICE

横浜パンの家  
SINCE 1996

毎日診療しているクリニック | 鳥居泌尿器科・内科  
医療法人社団 湘南太陽会  
SHODAN TAIYO  
鳥居泌尿器科・内科

竹嵩山 禅林寺

あなたの街のコミュニティーバー  
ほまかせ

行事予定(令和5年4月~9月、日程順)

多くの行事は開催日が近づくこと文化協会のホームページに詳細内容が掲載されます。また、前回の様子などもあります。新型コロナの影響がまだまだで、中止や延期の可能性がります。参加を希望される場合は問合先などに事前の確認をお願いいたします。

行 事 名	実 施 日	実 施 場 所	問 合 先
ケアラニ フラ スタジオ ウクレレピクニック フラ フェスティバル	4月16日(日)	大棧橋ホール	045-783-8934
金沢民謡協会 おさらい会	5月7日(日)	ヴェルクよこすか ホール	045-785-3506
金沢茶道会 新緑の大茶会	5月14日(日)	建長寺	045-782-9722
第20回瀬戸神社居合道奉納演武	5月20日(土)	瀬戸神社境内	045-783-2298
金沢茶道会 あじさい祭茶会	6月10日(土)・11日(日)	八景島客船ターミナル	045-782-9722
第59回金沢ふれあい文化祭春季大会	6月18日(日)	金沢公会堂 ホール	080-3410-3871
横浜金沢朗読公演会第3回	6月19日(月)	金沢公会堂	045-785-4757
畠山重保公顕彰墓参会	6月22日(木)	畠山重保公廟所	045-782-2858
金沢三曲会研究会	6月24日(土)	金沢公会堂 ホール	045-781-1483
NPO 法人らしく並木 講座 歴史から学ぶ防災	6月25日(日)	オフィスかなざわ	045-791-7690
金沢区書道協会 第35回記念展	6月29日(木)~7月4日(火)	杉田劇場ギャラリー	090-4530-9505
アンサンブル Alice Aliceのティーパーティーコンサート12	7月1日(土)	金沢公会堂	080-3410-3871
金沢吹奏楽団 第52回定期演奏会	7月8日(土)	金沢公会堂 ホール	090-7189-5298
野口英世よこはま顕彰会 夏休み子ども体験教室	8月5日(土)	長浜ホール	045-786-4618
金沢区ダンススポーツ協会 金沢区民オータムダンスパーティ	9月24日(日)	金沢スポーツセンター第一体育室	070-6575-5088

《 会員状況 》 (令和5年2月末現在)

会員 総数 129	個人 会員 103	新会員：外山 薫		団体 会員 26	新会員：なし	
賛助 会員 総数 19	法人 会員 18	一般社団法人 金沢区三師会	三本コーヒー 金沢文庫店	株式会社 はまかぜ新聞社	個人 会員 1	大作 耕一
		医療法人社団 景翠会	学校法人 新栄学園	知足山 龍華寺		
		金沢病院グループ	金沢百合幼稚園	富岡八幡宮		
		医療法人社団 湘南太陽会	御菓子司 横浜紅谷	有限会社 横浜パンの家		
		鳥居泌尿器科・内科	白山 東光禅寺	鹿島地所株式会社		
		植周造園株式会社	竹嵐山 禅林寺	株式会社 プルスト		
		赤ひげ小川笹船法要会	有限会社 オッターブルー	関口歯科医院		
*：新賛助会員：なし						
顧問 14	松本 純 篠原 豪 松崎 淳	大村 悠 黒川 勝 高橋 徳美	竹野内 猛 谷田部 孝一 浅川義治	木村 久義 片岡 順一 高井 祿郎	佐野 和史 鈴木 節夫	

注) 個人会員 103 人には顧問 14 人を含みます

《 会報編集委員 》

編集長	金間 誠一
編集委員	阿部 きみえ 阿部 孝三 内園 一廣 斉木 美子 塚本 眞砂子 千葉 昌子 福島 富士子 渡辺 淳子

《 編集後記 》

本号の編集はコロナ第8波がピークを越えたころに始まりました。紙面割説明と原稿依頼は運営委員会の席で行えましたが、コロナの心配もあり、委員会の出席率は良くありませんでした。欠席者には会議資料が郵送され、原稿依頼が行き渡っているとの思いでしたが、原稿集めに苦労しました。その分、編集作業が圧迫され、校正と体裁に不十分さが露呈しないことを願っています。(金間誠一)